



## 【先週 12月27日～1月2日の外食の出来事】

### ■ハイデイ日高、営業赤字 20 億円前後 3～11 月期単独 営業時間短縮も重荷

2020年3～11月期の単独営業損益は20億円前後の赤字となった。新型コロナの影響で客足が鈍り、既存店売上高の落ち込みが続いた。秋には外食の動きが戻り、9～11月期の営業損益はゼロ近辺に回復したもよう。

### ■出前館、最終赤字 35 億円 9～11 月、広告費かさむ

料理宅配サイト運営の出前館が24日発表した2020年9～11月期連結決算は、最終損益が35億円の赤字(前年同期は2億2000万円の赤字)だった。同期間の最終赤字は2年連続。広告費など成長に向けた投資がかさんだ。

### ■大戸屋、コロワイドから 30 億円調達 債務超過解消へ

大戸屋ホールディングスは、親会社のコロワイドを引受先とする優先株を発行し、30億円を調達すると発表した。新型コロナウイルスの感染拡大が影響し、大戸屋HDは2020年9月末時点で14億円の債務超過となっていた。

### ■「てんや」、ファミリー向け天ぷら業態をロードサイドで展開

ロイヤル傘下の「天井てんや」が、郊外ロードサイド店をに平塚市にオープンさせる。今回は、ファミリーから年配者まで幅広い客層を意識したメニューを取り揃え、「天井てんや」から「天ぷらてんや」に屋号を変えた。

### ■飲食業倒産、過去最多を更新 再建できず、財産を全て失う「破産」が 9 割

2020年の飲食業倒産は、累計810件に達した。年間で過去最多の2011年の800件をすでに上回り、過去最多を塗り替えた。東京商工リサーチ発表。形態別では、破産が767件と大半を占め、飲食業の再建は難しい。

### ■11月の外食売上高、前年同月比 92.2%と再び回復への希望に水を差す結果に

11月は、新型コロナ新規感染者数の増加が著しく、特に店内飲食が主体の業態では週を追うごとに客足が遠のき、下旬には政府・自治体の行動自粛要請や営業時間短縮要請により、10月に見えた回復傾向が失速。

### ■壺番屋、第3四半期(2020年3月～11月)の連結業績 減収減益

2021年2月期 第3四半期の連結業績は売上高329億6100万円(対前年同期比14.0%減)、営業利益19億7100万円(同53.5%減)、経常利益23億4500万円(同46.5%減)、四半期純利益14億5600万円(同47.6%減)。

### ■イートアンドインターナショナル、ラオックスと中国における合弁会社設立

イートアンドホールディングスは、グループ会社のイートアンドインターナショナルとラオックスが、外食フランチャイズ展開、食品販売事業など中国でのフードビジネス推進のため、中国における合弁会社設立に合意した。

### ■第一興商、デリバリー専門の新業態「台湾夜市」「チキン南蛮本舗」をオープン

第一興商は、本格的な味を自宅で気軽に楽しめるデリバリー専門店「台湾夜市」を12月23日に、「チキン南蛮本舗」を1月上旬にオープンする。どちらもデリバリーサービス「Uber Eats」にて注文できる。